

# 平成30年度自己点検・自己評価の結果概要

## 1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

本校は、平成24年度に自己評価委員会を設置し、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施している。実施項目は、指針に準じた大項目9に対する、本校の運営に即した小項目68としている。

平成30年度は、新たに学校関係者評価を開催し、外部の関係者からの評価及びご意見をいただき、学校運営に対する評価を行い、学校活動全般に関する質の向上を目指している。(学校関係者評価 参照)

## 2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

29年度自己点検評価結果をもとに下記の項目に取り組んだ。

### (1) ハラスメントの防止に関する規程の作成

学生が遭遇し得るハラスメントについて、防止策および発生時の対応を明文化した。

### (2) 単位認定に関する規程の作成

大学及び他の医療系専門学校等で習得した単位について、互換認定が可能であるため、認定内容について規程を作り、公平性を担保すると共に、より学生が学びやすい環境を作った。

### (3) 授業評価の取り組み、教員の相互研鑽のしくみづくり

教育力の向上、教員間の連携を円滑にする目的で、授業評価を行い、授業研究を積極的に行う取り組みを開始した。教員相互の研鑽のしくみは、引き続き継続課題として取り組んでいく。

### (4) 入学試験の際の面接の充実

入試面接では本校の理念に沿った看護師としての適性を有する学生を選抜するため、求める学生像の共有、問かけ内容の工夫点の検討など、面接官としての資質向上に取り組むため、要領の見直しや研修を開催した。

### (5) 学校関係者評価会議の開催

外部の方のご意見をいただき、学校運営に活かす会議を開催した。

## 3 平成30年度自己点検・自己評価結果

評価項目を9大項目68小項目とし、3段階評価の評価基準により実施した。

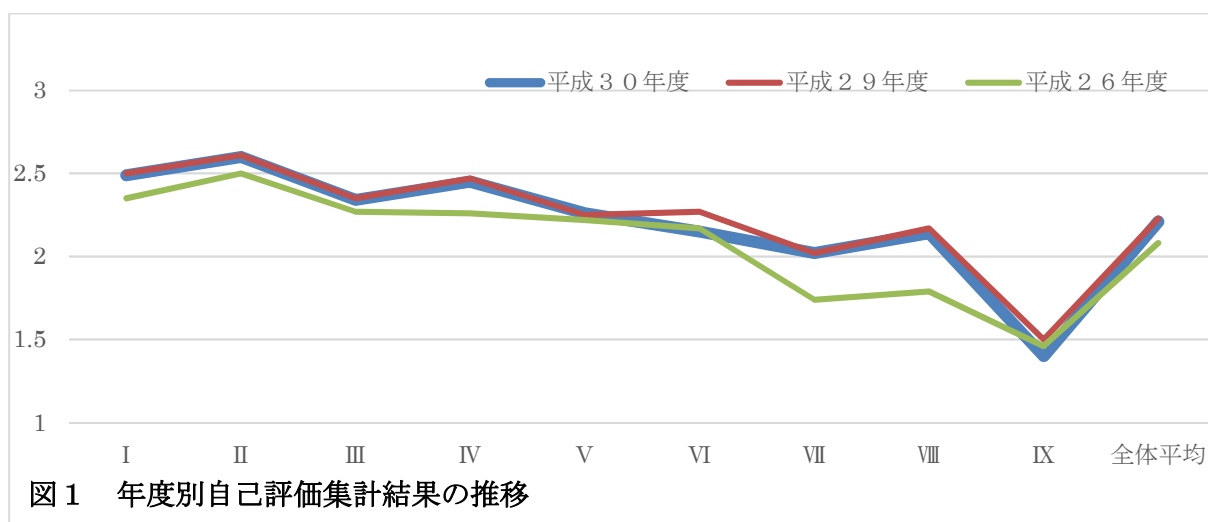
評価時期は平成31年1月7日から21日までとし、30年度実施内容に対する評価を、教職員16名で行った。

## 評価結果

平成29、30年度を比較したところ、同程度の評価点が多かったが、入学・地域社会・研究がやや低い評価点となっていた。(H26年度は小項目126項目で実施のため、参考数値)

表1 年度別の評価集計結果

大項目	H30	H29	H26
I 教育 理念・教育目的	2.49	2.50	2.35
II 教育目標	2.60	2.61	2.50
III 教育課程	2.34	2.35	2.27
IV 教育活動	2.45	2.47	2.26
V 経営・管理課程	2.26	2.25	2.22
VI 入学	2.15	2.27	2.17
VII 卒業・就業・進学	2.02	2.02	1.74
VIII 地域社会	2.14	2.17	1.79
IX 研究	1.40	1.50	1.46
全体平均	2.21	2.23	2.08



- 大項目では、IX研究を除き、全て2点以上の評価だった。
- 評価点は毎年上昇傾向にあったが、今年度は入学・研究項目で低下した。
- 前年度2点未満だった小項目は、下記のとおりである。

#### 2点以上へ改善

- III-19 教育課程を評価する体系を整え、評価結果の活用における倫理規定を明確にする。
- III-20 教員が専門性を発揮できるように、教員の担当教科と時間数を配分している。
- VII-59 卒業時の到達目標をとらえる方法を明確化し、計画的実施・分析を行う。

#### 2点未満のまま

- III-23 教員相互に成長できるよう自己研鑽のシステムを整えている。
- IV-31 授業内容の重複との整合性・発展性が明確になっている。
- VII-62 卒業生の活動状況の把握・統計的整理と分析結果を本校教育へ反映させる。
- IX-68 教員の研究活動を保障（時間的、財政的、環境的）している。

#### 新たに2点未満へ低下

- V-44 教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある。
- V-51 養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期化計画、短期計画、年間計画を立案しており、その実施・評価は将来構想との整合性を持っている。
- VI-56 受験生・入学生の質と量を確保するための対策を多角的に、組織的に計画・実施・評価している。
- VIII-66 養成所が設置されている地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学修・教育活動に取り入れている。

## 4 今後に向けて

平成30年度結果を受け、次の取り組みを行う。

- ① カリキュラム改正を見据え、教育目標・卒業時の到達目標の見直しを図る。
- ② 受験生の量と質を確保するための対策を多角的に取り組む。
- ③ 授業準備のための時間をとれる体制整備のため、対策を検討する。

2022年第5次カリキュラム改正へ向けた準備を進める中、地域の特徴、本校の特徴を生かしながら、将来を見据えた展望を明確にし、取り組みを進めたい。

なお、今年度、初めて実施した学校関係者評価においては、多くの貴重なご意見・評価をいただいた。学校外部からの評価を伺いつつ、学校運営全般の質向上を図っていききたい。